

大学図書館による展示

SALA 加盟図書館所蔵資料展示会

■ものづくり大学

<木のふしぎ>

本学の建設学科では、授業で原寸大の木造住宅や家具の制作を行うなど、木という素材を扱い学ぶ教育に力を入れております。

木は私たちの暮らしにあまりにも深く関わり、身近なものですから、特に気に留めたり、見たり、触ったりすることもないと思います。しかし、改めて見直してみると不思議なことが満載です。

今回は「木」をテーマに、木の性質、木の加工法、木製品の設計に関する書籍と「木のふしぎ」と題したパネルのほか、木の標本(材鑑)を展示しました。

また、木製品をつくるには、つくるための技術・技能が必要です。本学では、ものづくりの技を競う技能五輪全国大会や若年者ものづくり競技大会に挑戦したいという学生を毎年支援しています。そこで、大会出場時の結果や技能五輪国際大会の課題図面なども紹介しました。来場者の中には、大会で行われる職種および課題図面を興味深く見てらっしゃる姿もありました。

今回の展示では、木の標本をじっくり見たり、触ったり、香りを楽しんだりしていらっしゃる来場者も多く、木の素晴らしさを改めて感じていただけた場となりました。



■聖学院大学

<火事と喧嘩は江戸の華

～ 絵巻・目黒行人坂火事絵 ～>

「火事と喧嘩は江戸の華」といわれるように、江戸の町は多くの火災を経験しました。今回は、江戸三大大火の一つである明和9(1772)年の目黒行人坂の大火を描いた『絵巻・目黒行人坂火事絵』復刻 / (元聖学院大学学長・安倍北夫先生寄贈)を中心に展示を行いました。火事の発見から、避難の様子、町火消や武家の火消部隊の活躍、焼け跡復興の様子などが描かれている絵巻です。その他、江戸の町を襲った三大火事の紹介や、番付表・聖代要廼磐寿恵など江戸時代の火災や消防体制に関する資料を展示しました。

◆ビブリオバトルの紹介

もう一つの展示として、ビブリオバトルに関連する書籍の展示を行いました。本学では、ビブリオバトルに力を入れており、全国大学ビブリオバトル2015～首都決戦～では、図書館と日本文化学科の授業と2つの予選会を行い、それぞれ地区決戦を勝ち抜き2名の学生が本戦に出場しました。「図書館と県民のつどい」では、昨年度より中高生によるビブリオバトルを開催していることなどから、展示をご覧いただいた方々の関心も高かったように思います。



■城西大学

＜世界を魅了した日本の版画＞

本学は「学問による人間形成」を理念に、専門教科の学びに加えグローバル教育として海外姉妹校との交換留学プログラムを実施し、多くの留学生を受け入れています。「世界の中の日本」の授業では江戸時代の絵画と外国の関係を通して、日本人の世界観を学んでおり、当館では留学生支援図書コーナーを設置し関連資料を揃えています。今回は、この中から海外で出版された日本の版画に関する資料を中心に展示し、西洋の絵画に影響を与えた日本の版画について関心を深めていただきました。さらに、本学美術館所有の浮世絵版画復刻版もご覧いただき、復刻版ならではのあざやかな色彩をお楽しみいただきました。

【主な展示資料】

- ・『Arts and crafts of old Japan』
- ・『Japanese fragments, with facsimiles of illustrations by artists of Yedo』
- ・『The sketchbooks of Hiroshige』

【浮世絵版画復刻版】

- ・喜多川歌麿
「針仕事」
- ・東洲斎写楽
「谷村虎蔵の驚塚八平次」
「松本米三郎のけはい坂の少将実はしのぶ」



■芝浦工業大学

＜学生参画型図書館

「Release Your Creativity. S.I.T.」>
芝浦工業大学図書館では学生参画型図書館運営の促進を図り、学生と協働しながら展示や企画などを行っています。

今回の展示では、本学学生が日々取り組んでいる「ものづくりの楽しさ」を紹介したく、アニメーション研究会に協力いただき「モンスターハンター」に登場する武器、「炎剣リオレウス」と「甲冑」を実物大で再現した制作物と、その制作にあたって参考にした図書資料をあわせてご紹介しました。展示資料は、加工技術などの専門書はもちろんのこと、古代の生物や服飾の本まで多岐にわたりました。学生がイメージ通りのものを作り上げるためにたどった試行錯誤の努力を、資料から見ていただけたのではないのでしょうか。当日は、アニメーション研究会所属の制作者自ら甲冑を着て、展示の説明をしました。多くの質問も飛び交い、来場の皆さまには夢を現実にする楽しさを感じていただけたものと思います。今後とも、私たちは多くの学生と協力して、より魅力的な図書館活動を行っていきたくと考えています。



大学図書館による展示

■埼玉医科大学

＜描かれた医療＞

この秋、いくつもの医療ドラマが放送されており、なかにはマンガを原作としたドラマもあります。「医療」というと、以前は医師を中心とした外科が舞台の作品が多くありました。ですが、現在では小児科、産婦人科という普段の生活にも馴染みのあるものから、麻酔科、病理医、管理栄養士など病院の表からはみえない職種を題材としたマンガやドラマが描かれるようになっていきます。

今回の展示では、医療マンガと医療ドラマについて昭和の代表的な作品から最近の作品を年表にまとめ、おすすめの医療マンガを展示しました。

ブースには、親子連れやご年配者の方、学生など多くの方に立ち寄っていただきました。なかには、展示している「医療マンガ・医療ドラマ簡易年表」に記載している作品について質問される方や展示資料の作品紹介のポップをみて、手にとって読まれる方もいらっしゃいました。会場では、展示について紹介する小冊子を配布しました。また、この小冊子は本学図書館ホームページ「展示の記録」よりご覧頂けます。

【作成資料】

「医療マンガ・医療ドラマ簡易年表」

【主な展示資料】

『JIN 仁-』

『ツレがうつになりまして。』

『フラジャイル 病理医岸京一郎の所見』他

20点

